

**科目名：日本学メソドロジー実践／ Practical Methods in Japanese Studies**

**曜日・講時：**前期 火曜日 1 講時 文学研究科棟 1F 133 講義室

**semester：**1 学期, **単位数：**2

**担当教員：**オムニバス (尾崎 彰宏 教授 外)

**使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**

「日本学」への実践的なアプローチに向けて

**2. Course Title (授業題目)：**

A Practical Approach to New Methodologies of Japanese Studies

**3. 授業の目的と概要：**

メソドロジー実践科目は、メソドロジー基盤科目を受けて、プログラムに参加している教員が、東北大学の「日本学」をどのように考え、具体的にどのようなアプローチが可能なのか。その研究の具体的な断面を1回ずつ担当することで講じる。このオムニバス形式の講義では、現代に生きる私たちにとって、個々の研究がどのような意義をもつのか、そしてそれがどのような新しい価値の創造とかかわるのか具体的に示されることになる。プログラム生は、これらの実践的な取組みを参考にし、現代の課題に取り組む「日本学」について理解を深めていくことができる。

**4. 学習の到達目標：**

各回異なる教員の授業を聴講することで「活動的生」(vita activa)としての学問に対する姿勢を学ぶ。そして、その経験を通してプログラム生もその実践に参加できるようにする。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 「序」(Preamble) 尾崎彰宏 教授
- 2 伏見岳人 教授
- 3 「経済史学という学際領域—経済学と歴史学の狭間で—」(The Interdisciplinary Field of Economic History: Between Economics and History) 結城武延 准教授
- 4 「東北アジア史と日本—モンゴルをめぐって—」(Northeast Asian History and Japan: Mongolian perspective) 岡洋樹 教授
- 5 「中国史の研究方法と実践」(Research Methods and Practices in Chinese History) 大野晃嗣 教授
- 6 「日本列島における死後世界のイメージの変遷」(The Changing Image of the World after Death) 佐藤弘夫 教授
- 7 「文化人類学から日本学を考える—自己と他者の往還—」(Considering Japanese Study from Cultural Anthropology: Crossing the Border between Self and Others) 川口幸大 教授
- 8 「日本近現代史研究と現代社会」(Japanese Modern History Research and Contemporary Society) 安達宏昭 教授
- 9 長岡龍作 教授
- 10 クレイグ クリストファー 准教授
- 11 「日本古典文学研究と文学社会学」(Japanese Classical Literature Study and Sociology of Literature) 横溝博 教授
- 12 黒岩卓 准教授
- 13 「国際」日本学って何?」(What Is "International" Japanese Studies?) 佐藤嘉倫 教授
- 14 クリントン ゴダール 准教授
- 15 「結び」(Coda) 尾崎彰宏 教授

**6. 成績評価方法：**

出席50%、レポート(課題「講義で学んだことを自分の研究の中でどのように実践していくのか、具体的に論述する」(4000字程度))

**7. 教科書および参考書：**

教室で指示

**8. 授業時間外学習：**

教室で指示

**9. その他：**

なし